



東川／所沢市上新井の 護岸復旧に係る説明会

日時：令和6年9月27日(金)

場所：上新井小学校体育館

埼玉県川越県土整備事務所

次第

東川被災箇所（上新井2丁目）に関する説明会

日時：令和6年9月27日(金)19:00～20:00

場所：所沢市立上新井小学校 体育館

1. 挨拶
2. 出席者の紹介
3. 内容説明
4. 質疑応答

連絡先

埼玉県川越県土整備事務所河川担当

電話：049-243-2023

説明会の目次

1. 気象状況について

- (1) 雨の状況（雨雲レーダー、等雨量曲線、ハイトグラフ）
- (2) 水位の状況（監視カメラ、水位ハイドログラフ、河川断面図）

2. 護岸崩落状況について

- (1) 護岸崩落の箇所
- (2) 護岸崩落の写真
- (3) 護岸崩落の原因

3. 仮復旧工事について

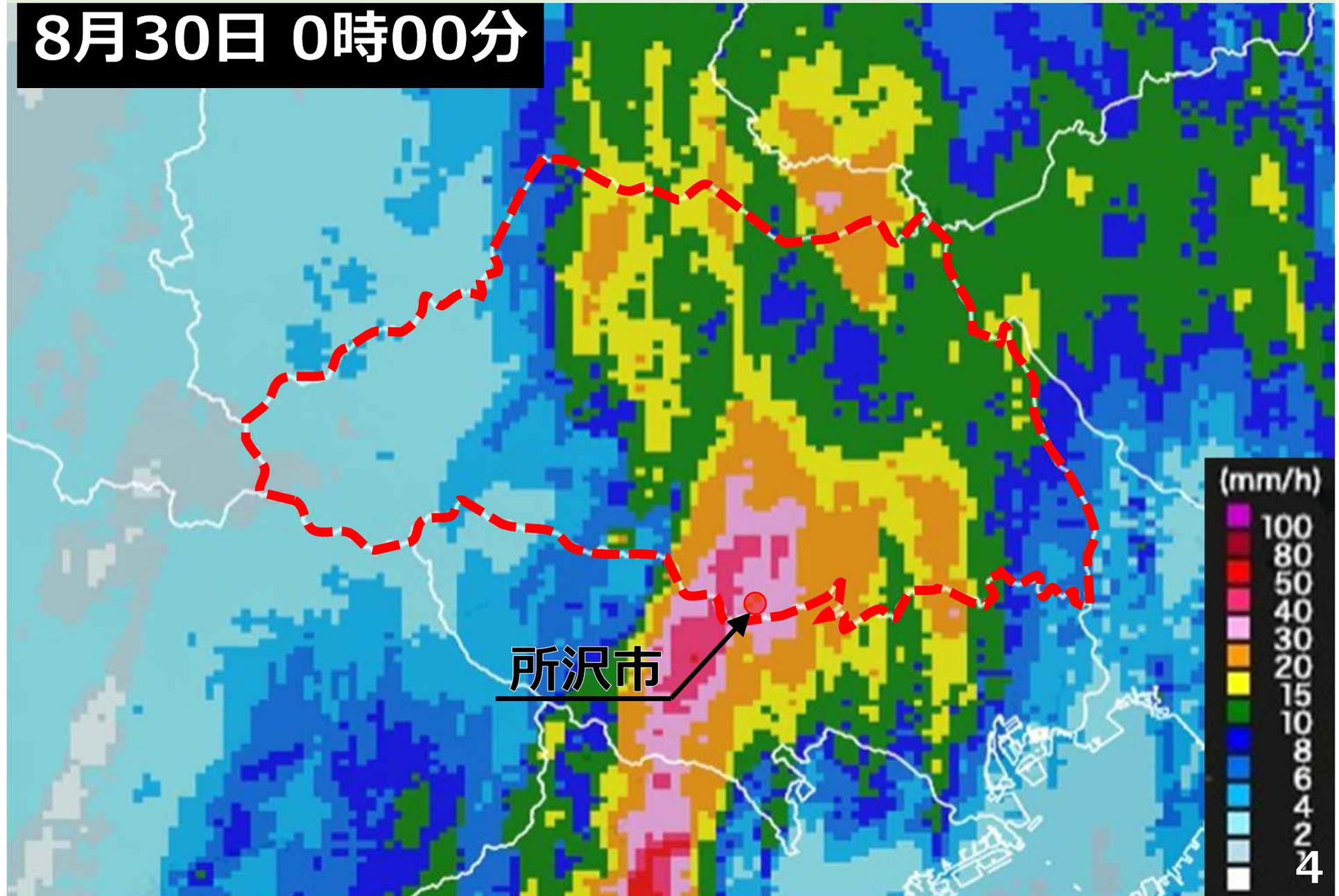
- (1) 復旧工事の手順
- (2) 仮復旧工事（安全対策・浸食対策）

4. 本復旧工事について

- (1) 本復旧工事の方針
- (2) 本復旧工事のスケジュール
- (3) 本復旧工事のイメージ

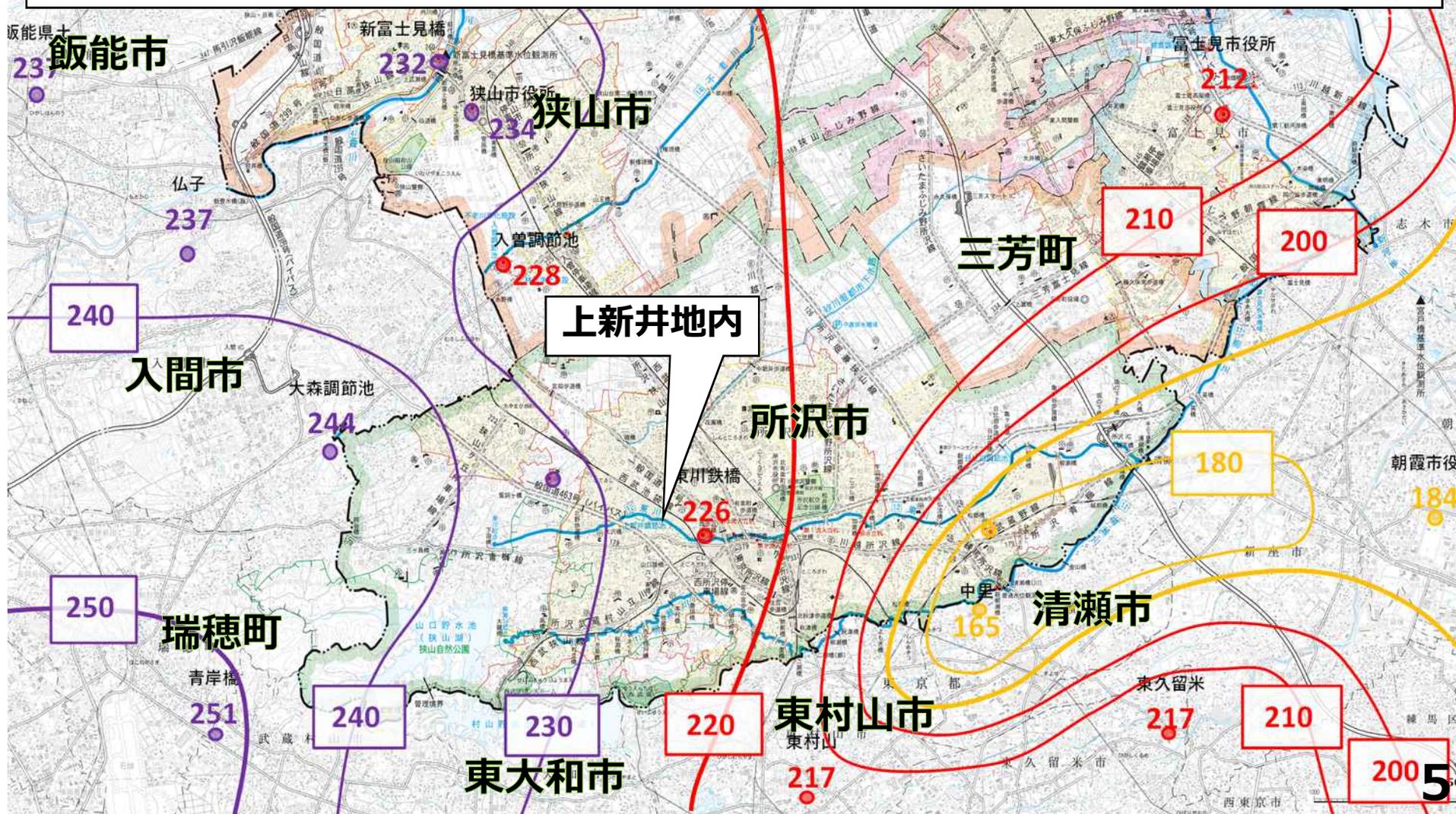
1(1).雨の状況 (雨雲レーダー)

8月30日 0時00分



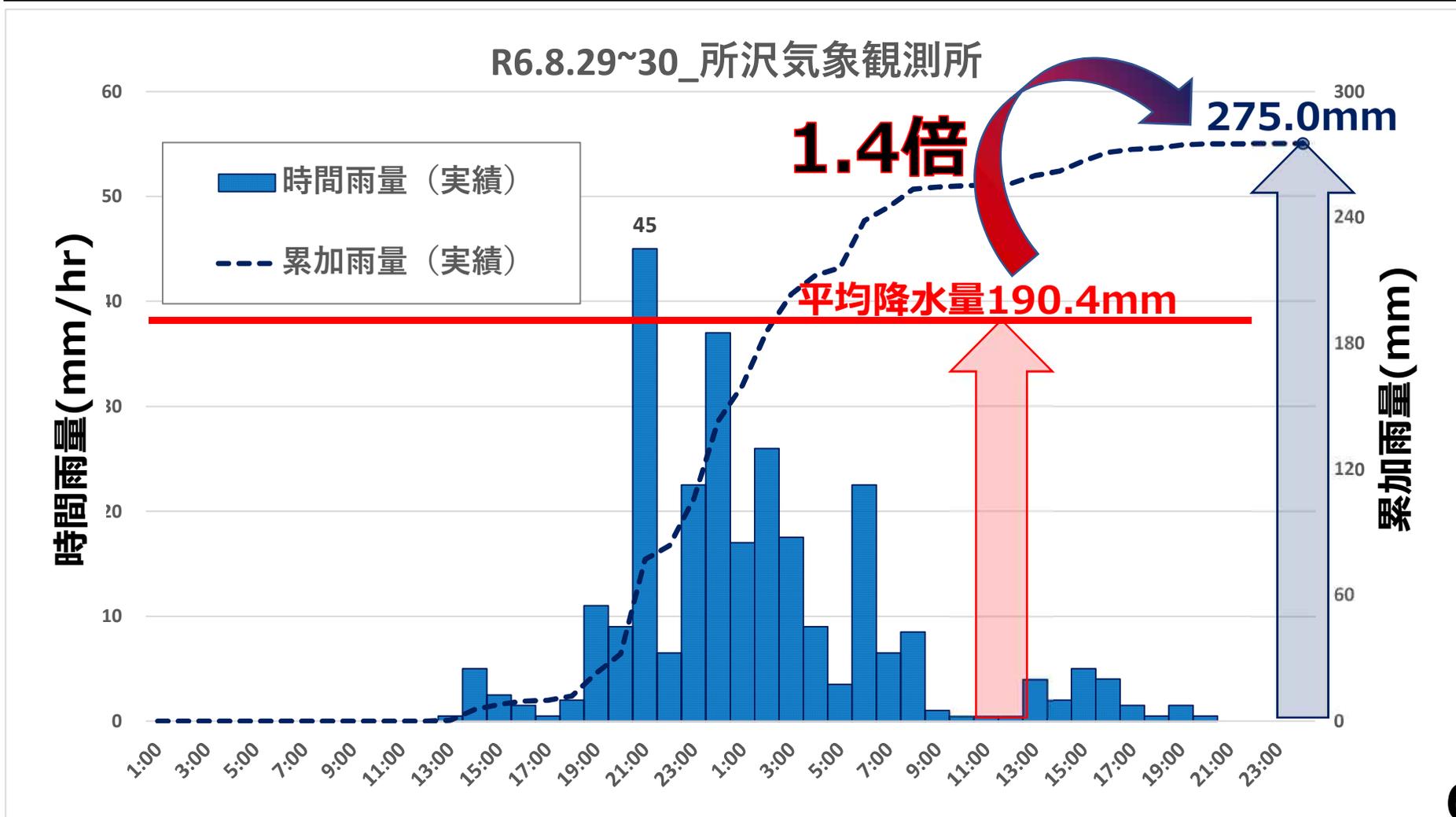
1(1).雨の状況（等雨量曲線）

24時間の等雨量曲線では、所沢市,入間市,飯能市で200mmを超える降雨量があったことが分かる。



1(1).雨の状況 (ハイエトグラフ)

8.29~8.30の2日間で275.0mmの降雨があった。
これは8月の平均降水量190.4mmの約1.4倍。



1(2).水位の状況（監視カメラ）

8月30日 0時00分

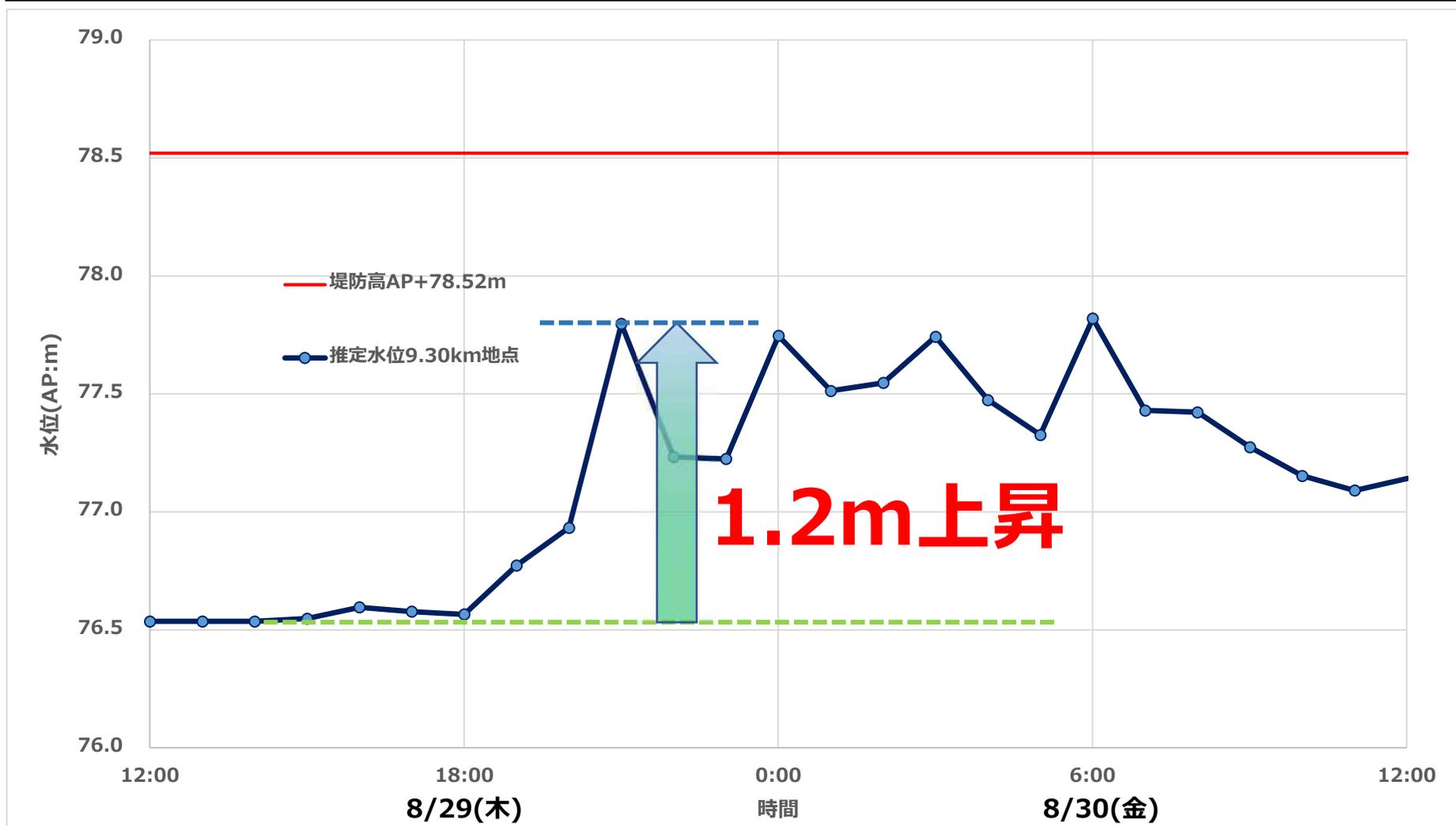
西所沢2丁目（東川鉄橋）

2024-08-30 00:00:01



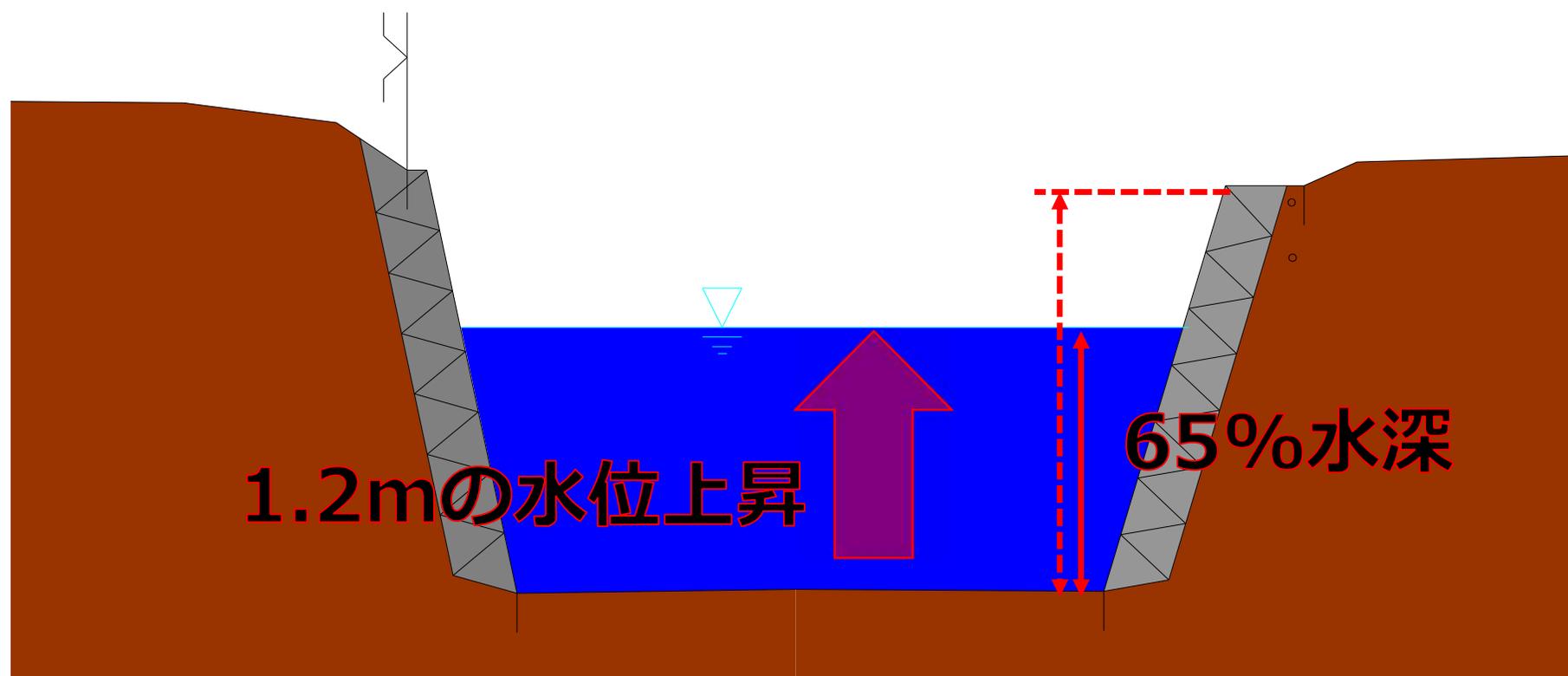
1(2).水位の状況（水位ハイドログラフ）

所沢市上新井を流れる東川では、平常時に比べ、最大約1.2mの水位上昇があったと推定(65%水深)

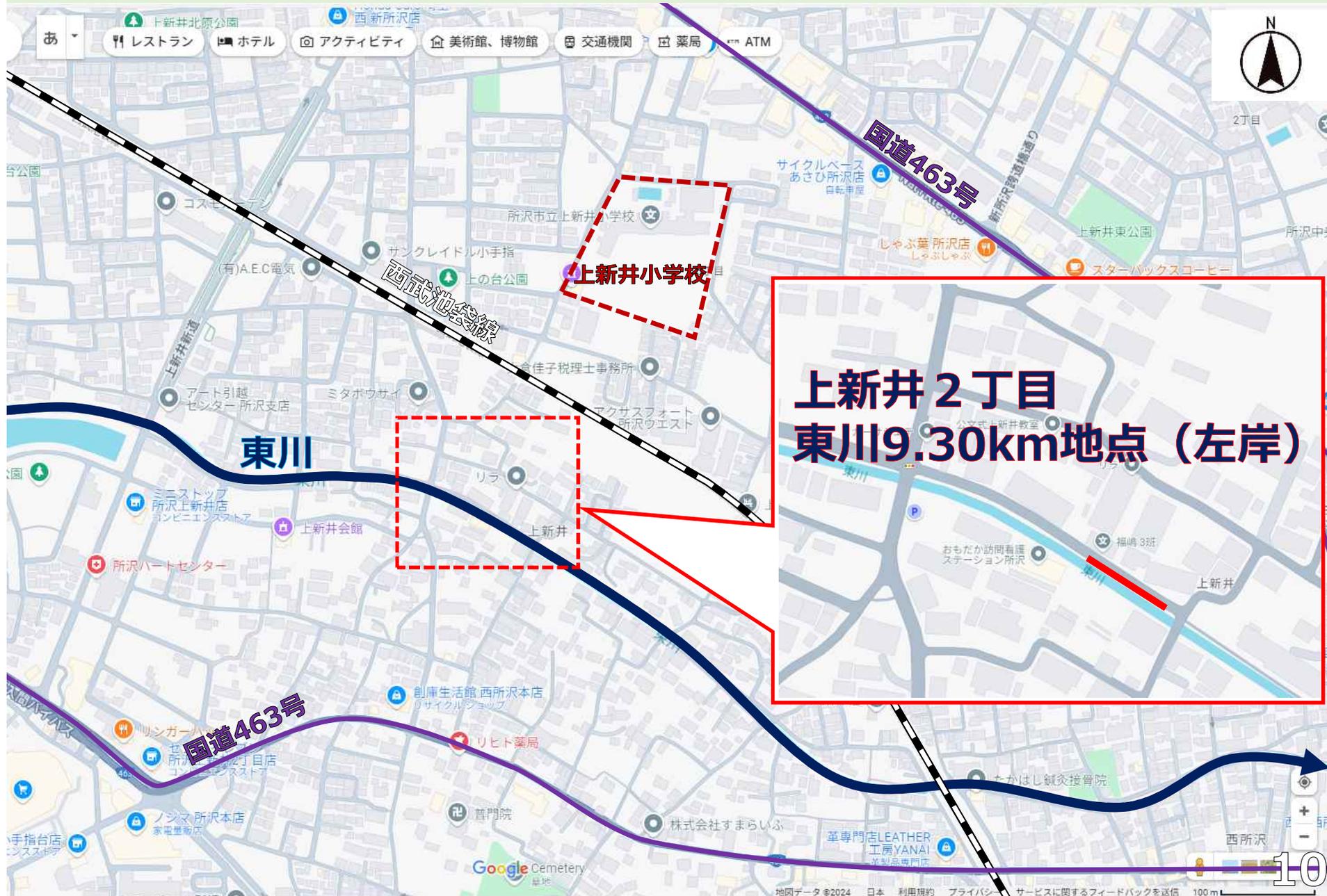


1(2).水位の状況（河川断面図）

所沢市上新井を流れる東川では、平常時に比べ、最大約1.2mの水位上昇があったと推定(65%水深)



2(1).護岸崩落の箇所



2(2).護岸崩落の写真

崩落直後 (8/30(金) 0:31)



2(2).護岸崩落の写真

崩落直後 (8/30(金) 0:32)



2(2).護岸崩落の写真

崩落後 (8/30(金) 11:39)



2(2).護岸崩落の写真

水位低下後 (9/2(月) 12:37)



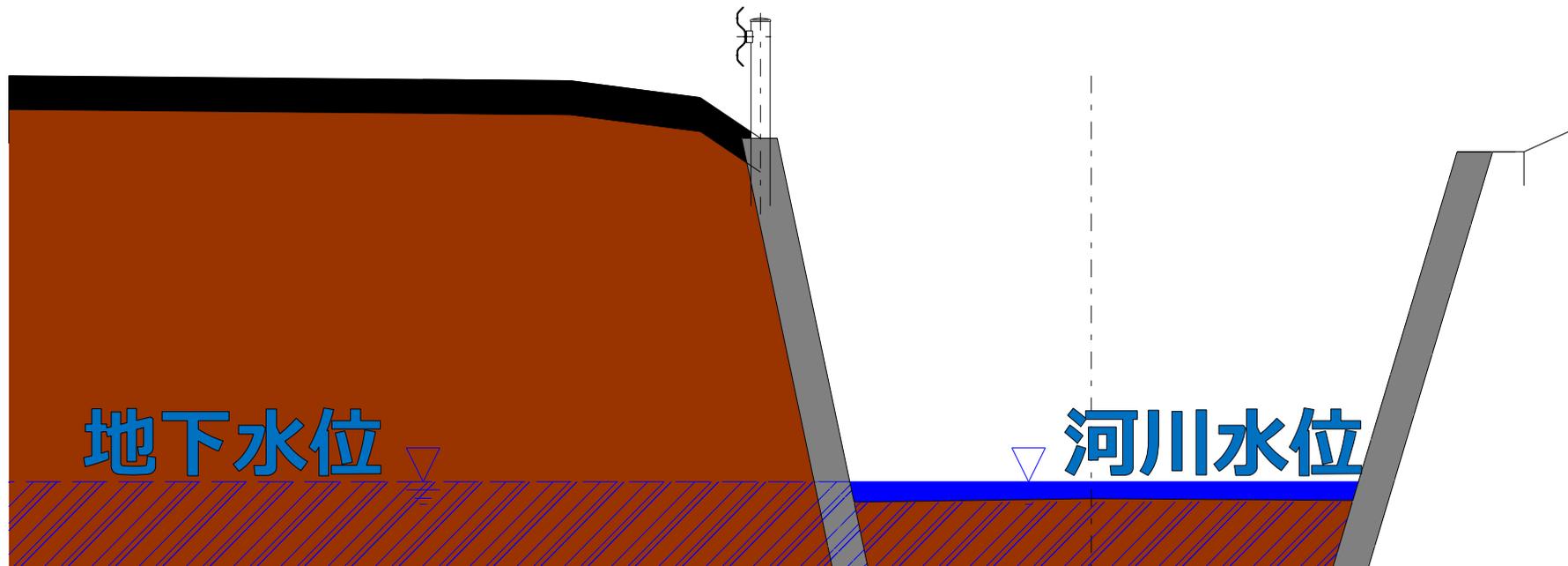
2(2).護岸崩落の写真

直高2.1mのブロック積護岸及びガードレールが約40mに渡り崩落した。



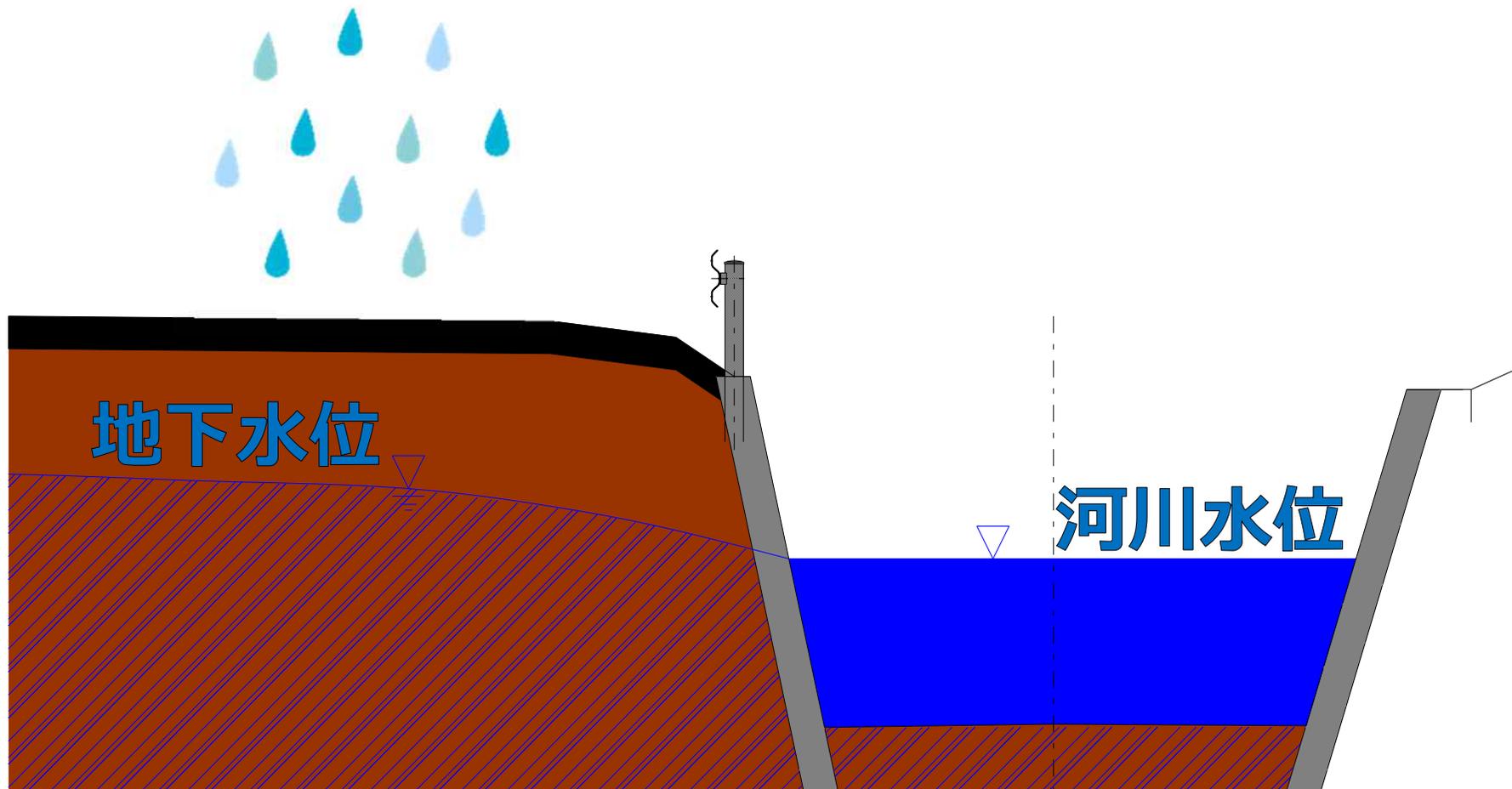
2(3).護岸崩落の原因

ステップ 1 :
平常時は河川水位と地下水位が均衡を保っている



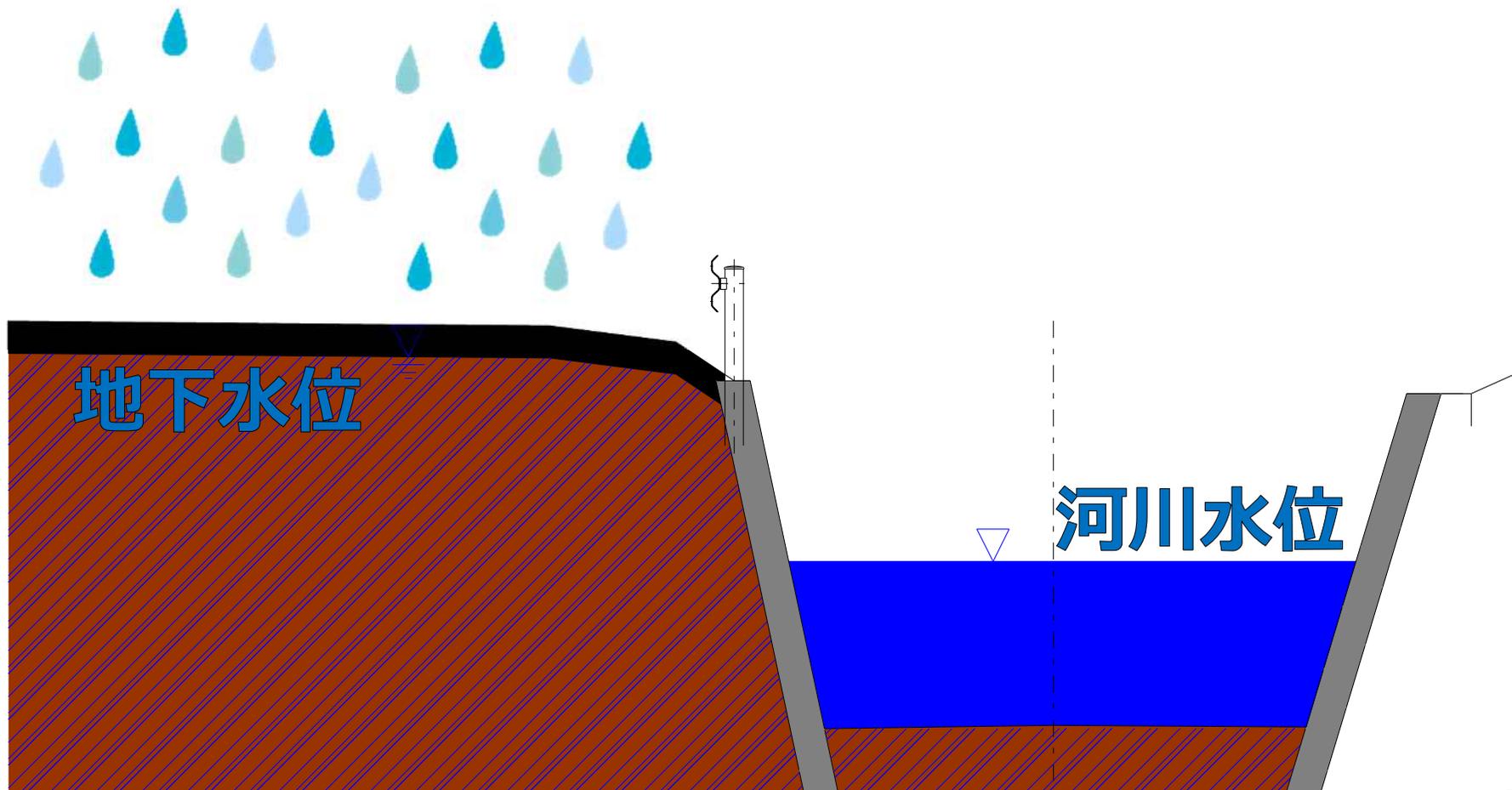
2(3).護岸崩落の原因

ステップ 2 :
降雨により、河川水位も地下水位も上昇



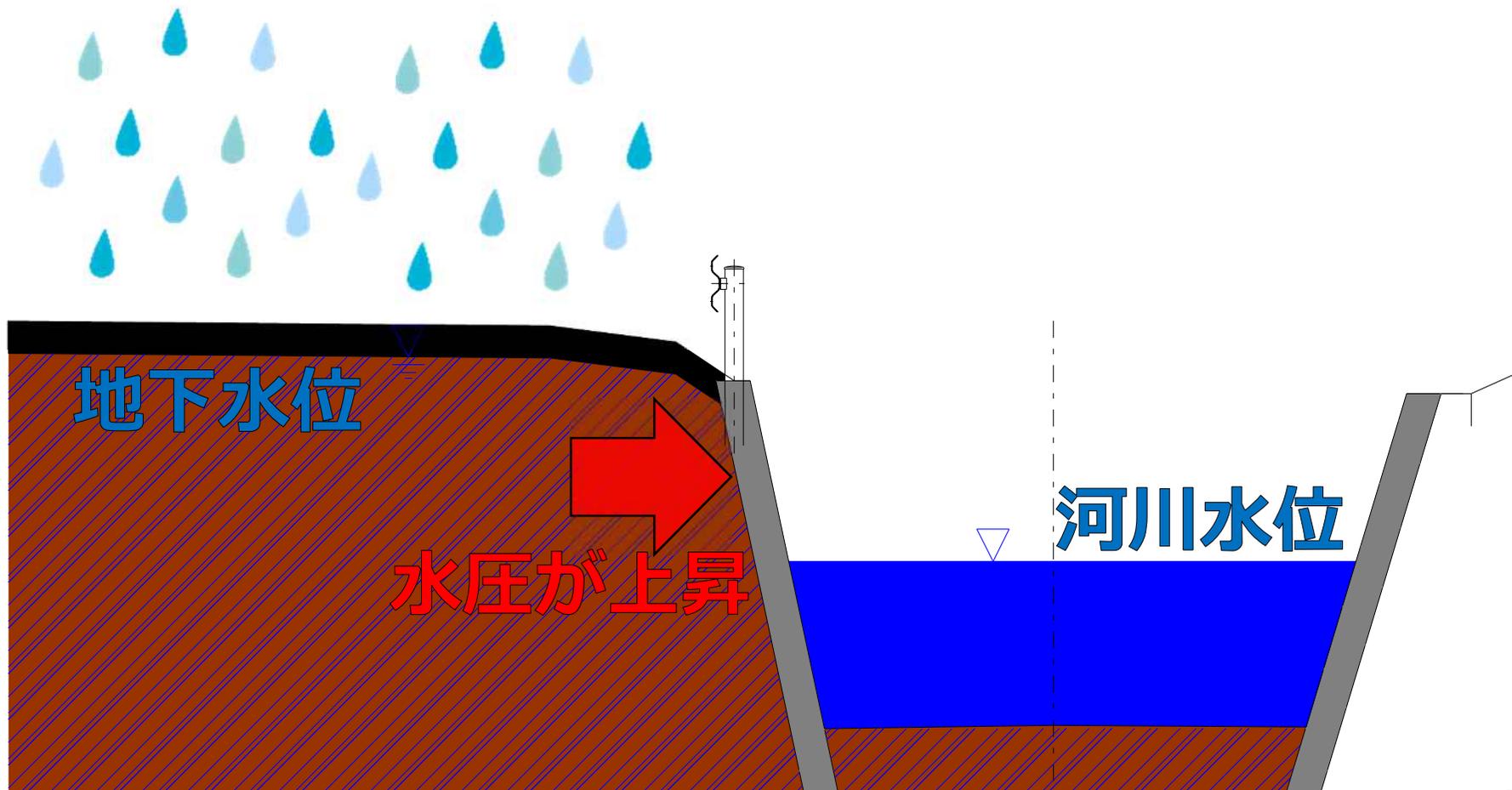
2(3).護岸崩落の原因

ステップ 3 :
長雨により降雨が路面に浸透し更に地下水位が上昇



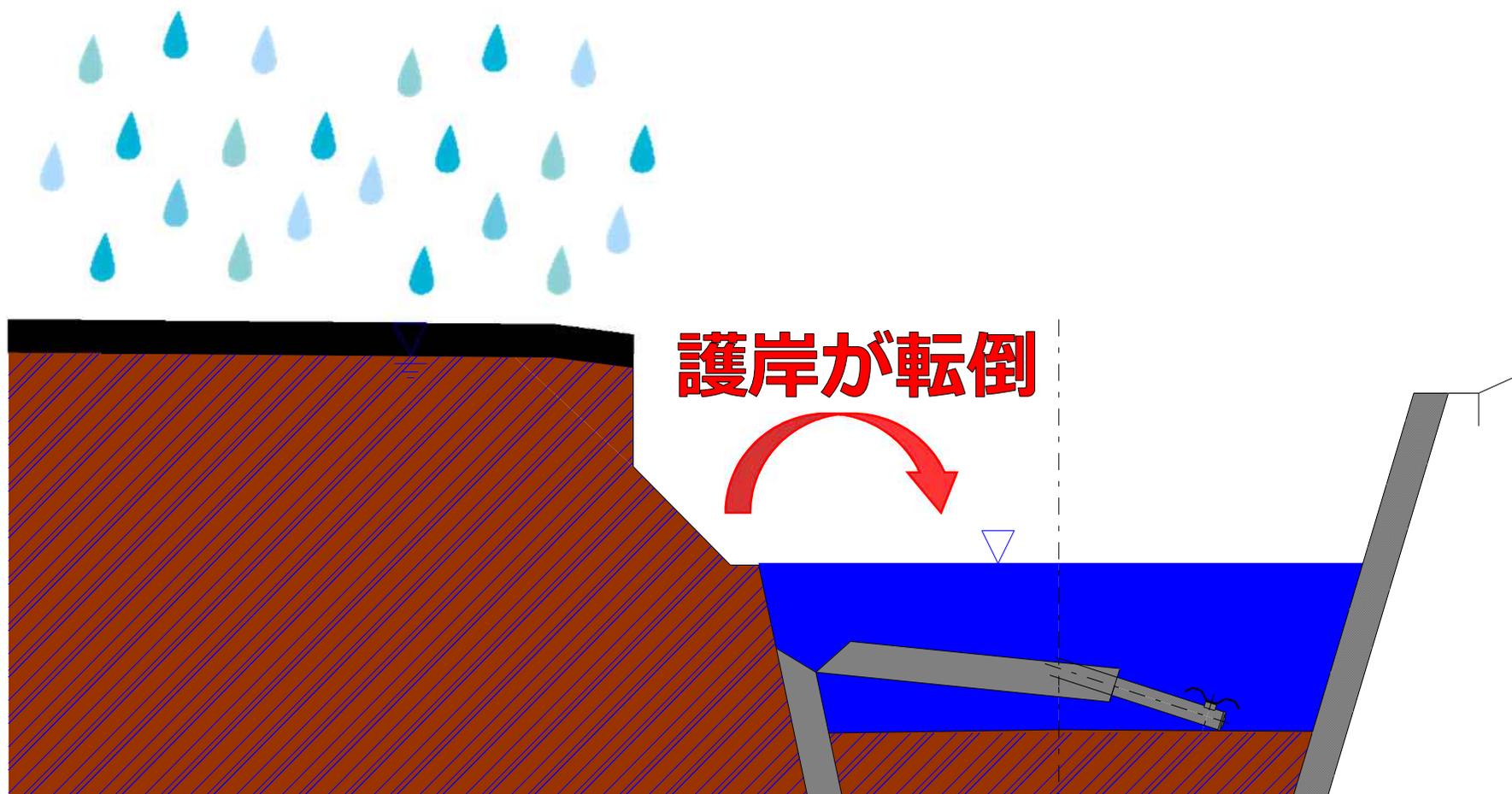
2(3).護岸崩落の原因

ステップ 3 :
地下水位の上昇により、護岸背面からの水圧が上昇



2(3).護岸崩落の原因

ステップ 4 :
背面からの水圧に耐えきれず、護岸が転倒



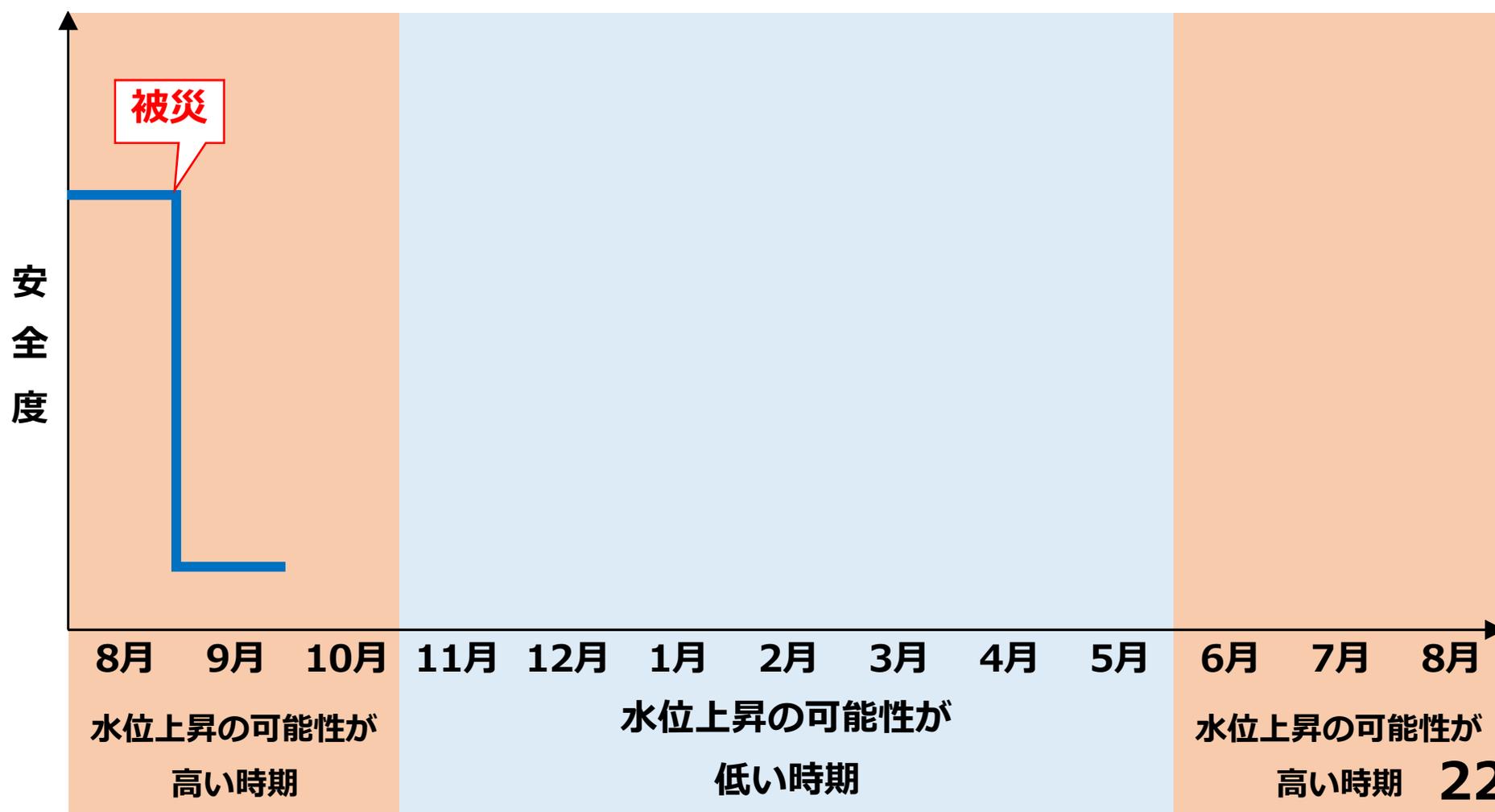
3(1).復旧工事の手順

復旧工事には一定の工事期間が必要となるが、復旧が完了していない期間中にも、台風等により河川水位が上昇する可能性がある。復旧が完了していない状況で河川水位が上昇すると、浸食作用等により、大きな被害が発生する恐れがある。

そのため、**まずは応急的な工事により、一定の安全性を確保し、台風シーズン後に、本格的な復旧を実施していくこととする。**

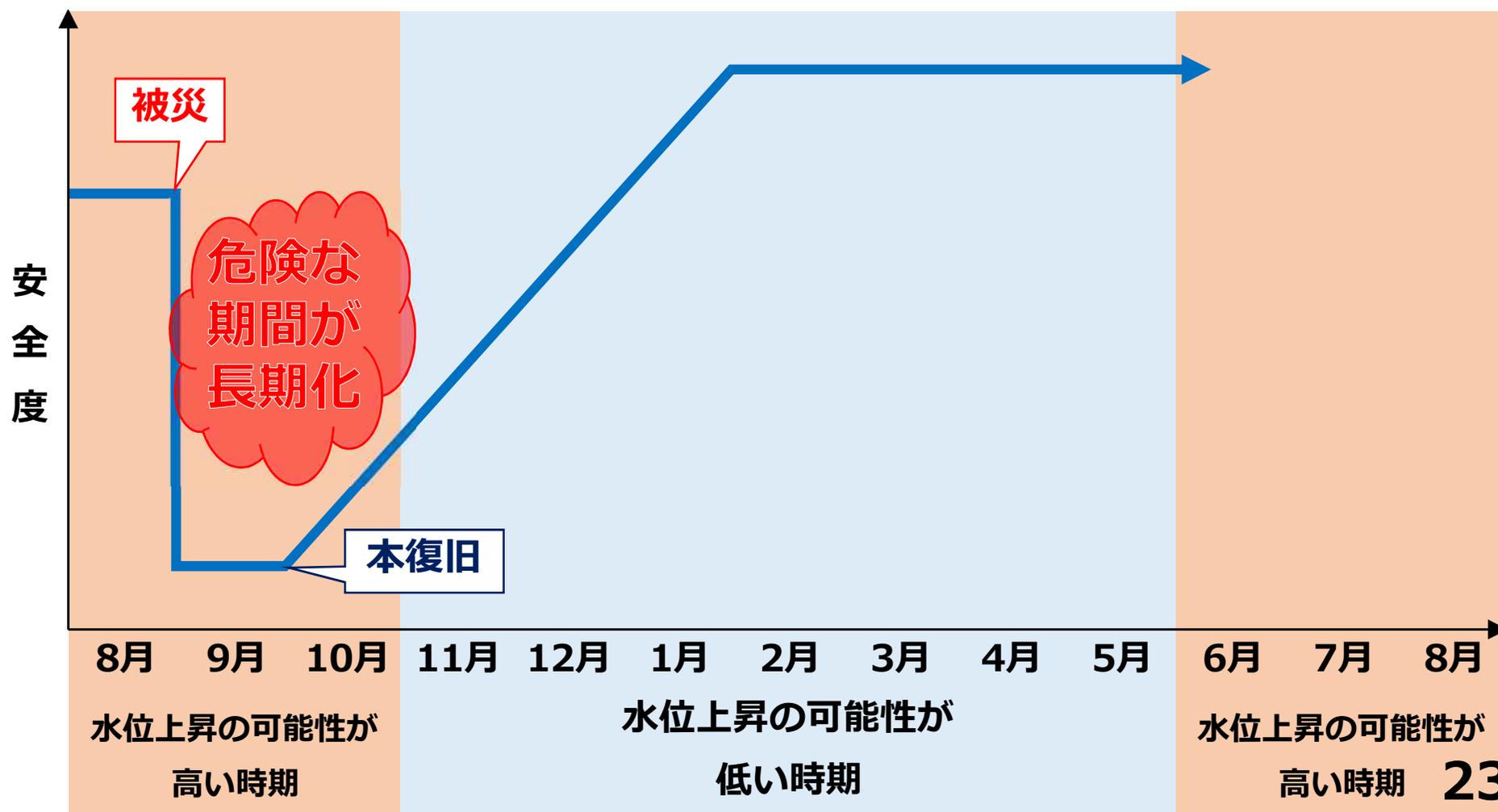
3(1).復旧工事の手順

台風10号により護岸が被災し、安全度が低下



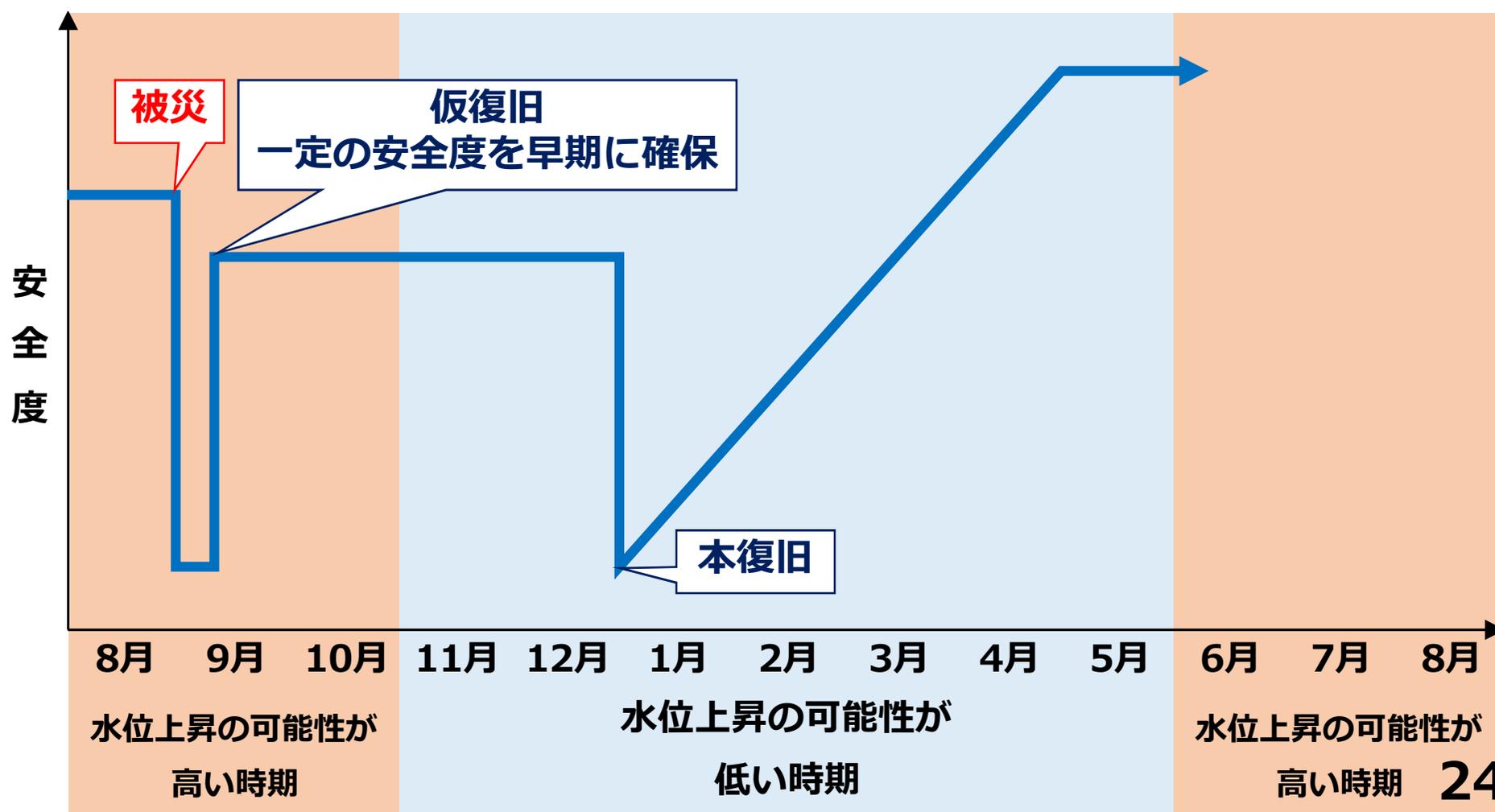
3(1).復旧工事の手順

本格的な復旧には時間を要することから、本復旧から進めると、安全度が低下している時期が長期化



3(1).復旧工事の手順

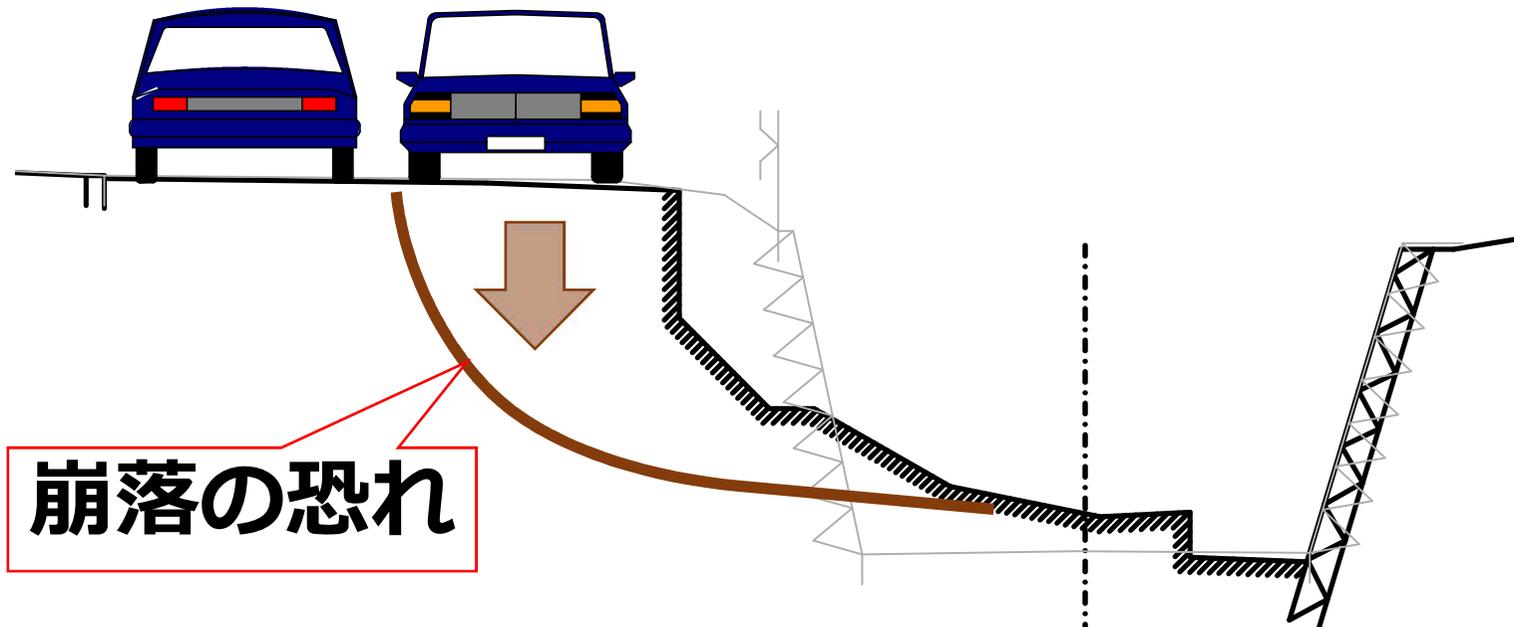
まずは応急的な工事により一定の安全度を確保してから、本格的な工事を開始する。



3(2). 仮復旧工事（安全対策）

1. 車両通行止めの実施

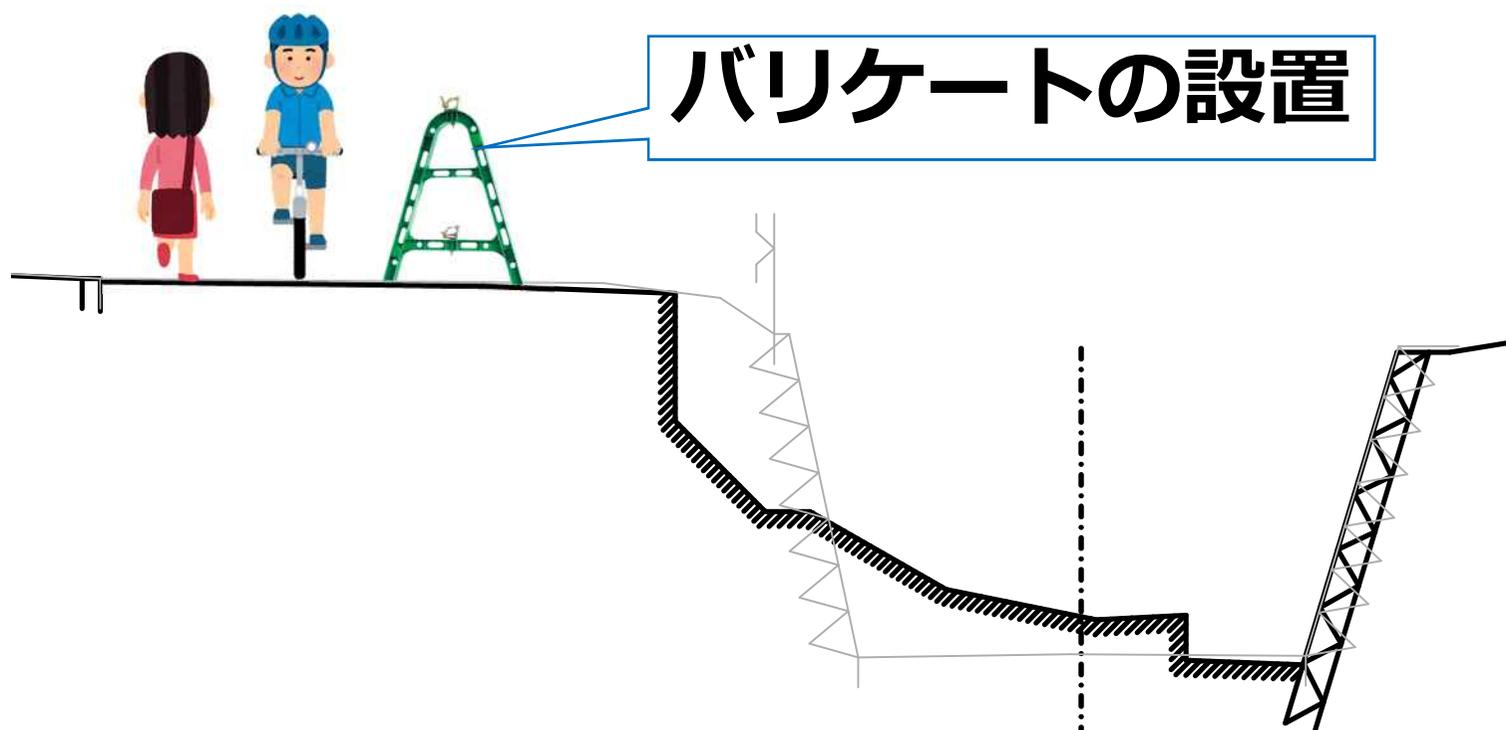
車両の重量により、斜面が崩落が進行する可能性があったため、バリケードを設置し、車両の通行の規制



3(2).仮復旧工事（安全対策）

1.車両通行止めの実施

車両の重量により、斜面が崩落が進行する可能性があったため、バリケードを設置し、車両の通行の規制



3(2).仮復旧工事（安全対策）



至 R463号

3(2).仮復旧工事（安全対策）



至 R463号

3(2).仮復旧工事（安全対策）

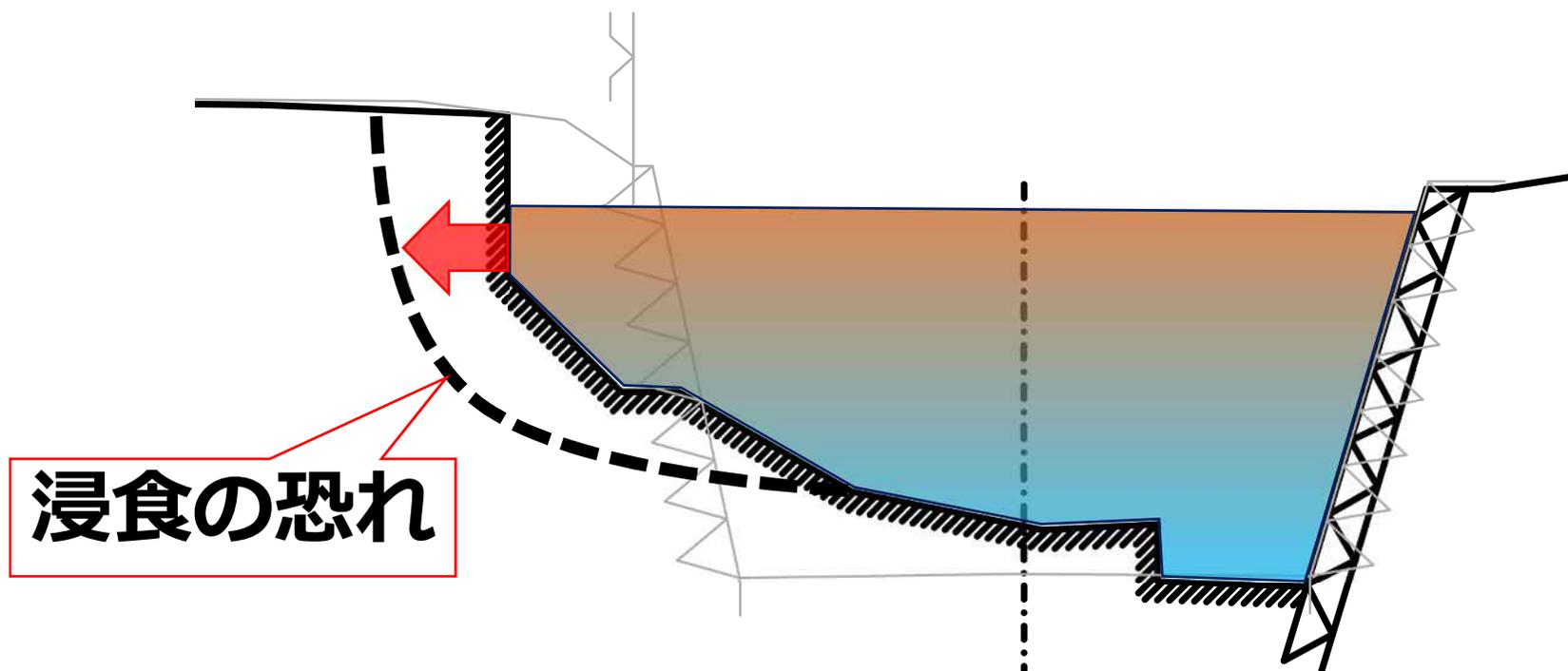


至 R463号

3(2).仮復旧工事（浸食対策）

2.大型土のうによる浸食防止対策

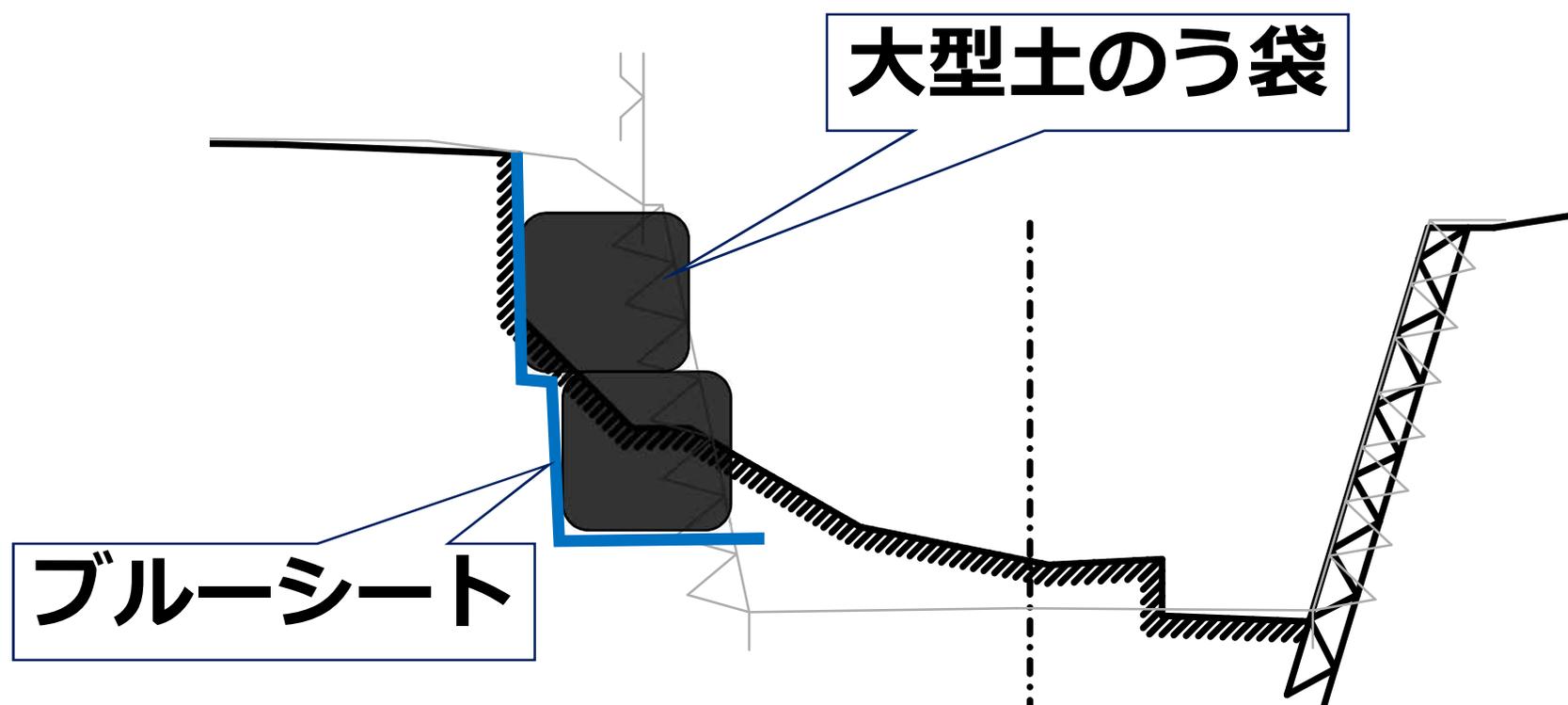
流水により斜面が浸食される可能性があったため、早急に設置が可能な大型土のうとブルーシートを設置



3(2).仮復旧工事（浸食対策）

2.大型土のうによる浸食防止対策

流水により斜面が浸食される可能性があったため、早急に設置が可能な大型土のう袋とブルーシートを設置



3(2).仮復旧工事（浸食対策）



3(2).仮復旧工事（浸食対策）



4(1).本復旧工事の方針

再度災害防止を図るため、以下の方針で復旧

1.崩落箇所を含む約120mの護岸を更新

2.護岸勾配を緩くする (79°→73°)

3.水抜きパイプを設置

4.道路幅員は4.2mを確保

5.流下能力を低下させない

4(1).1-本復旧工事の方針

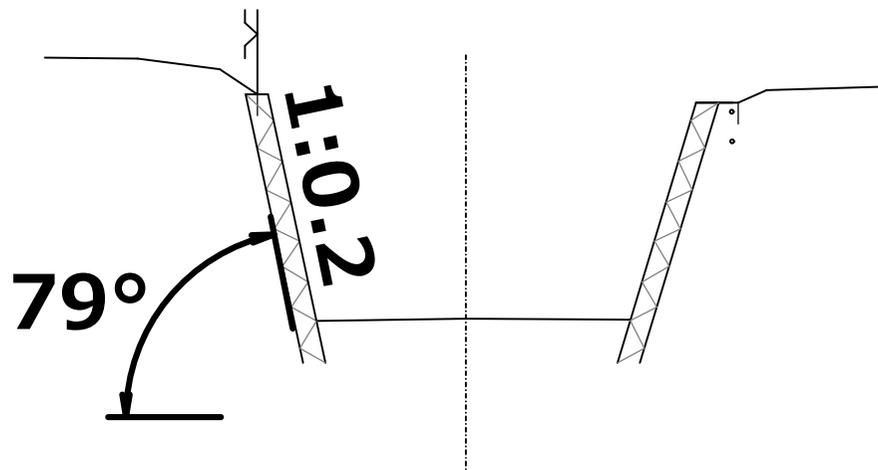
崩落した護岸と同じ形式の120m区間について
既存の護岸を撤去し、新たな護岸を再設置



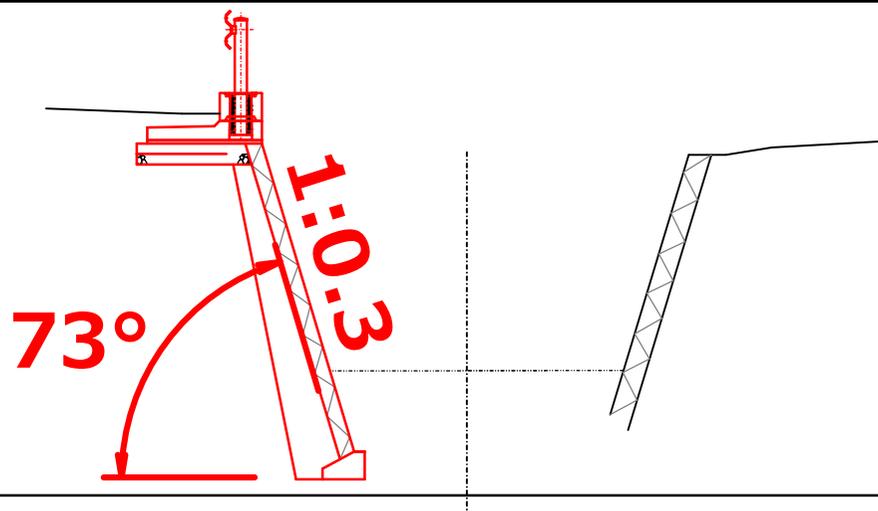
4(1).2-本復旧工事の方針

護岸の勾配を緩くし、倒れにくい構造で復旧

被災前の断面

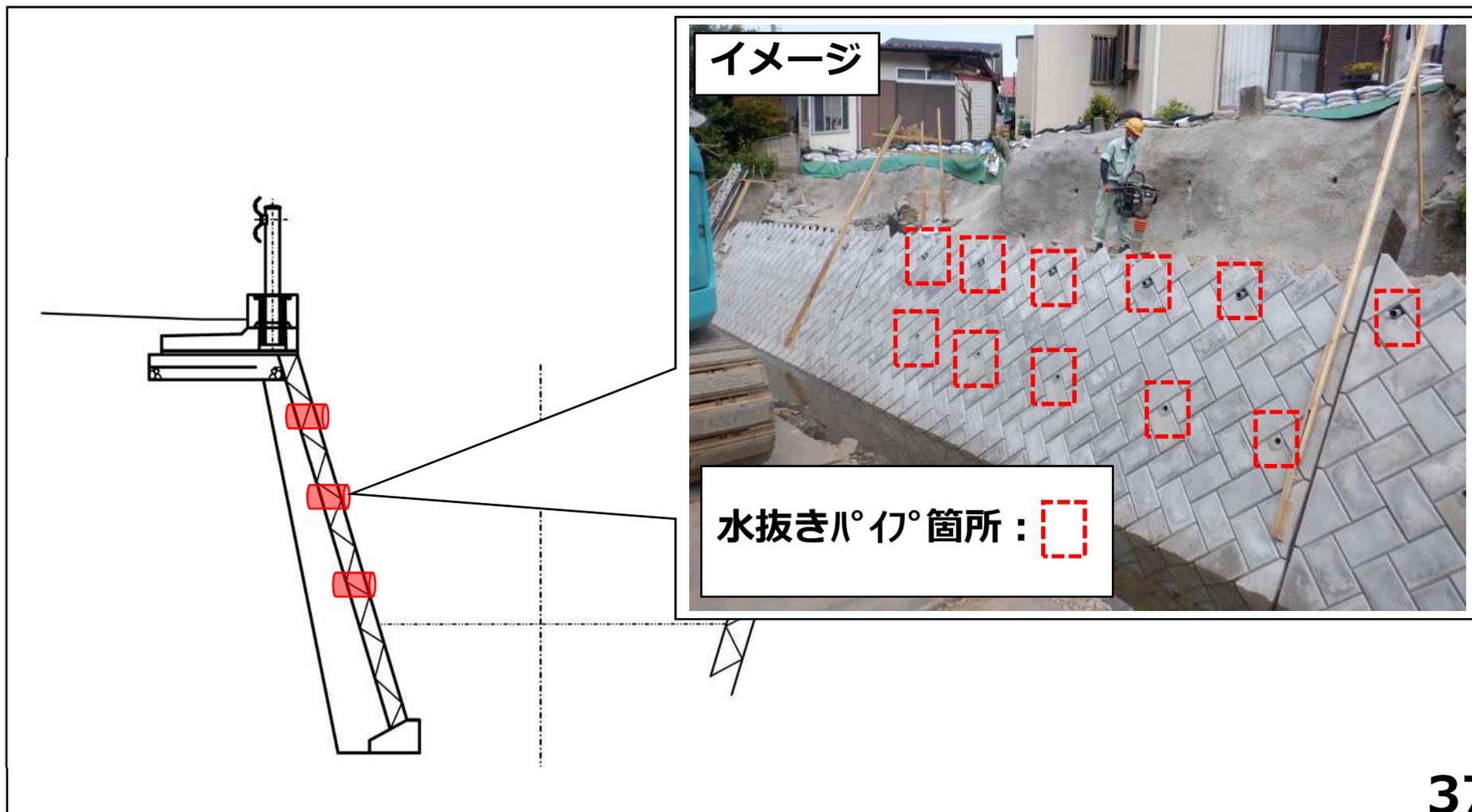


復旧断面



4(1).3-本復旧工事の方針

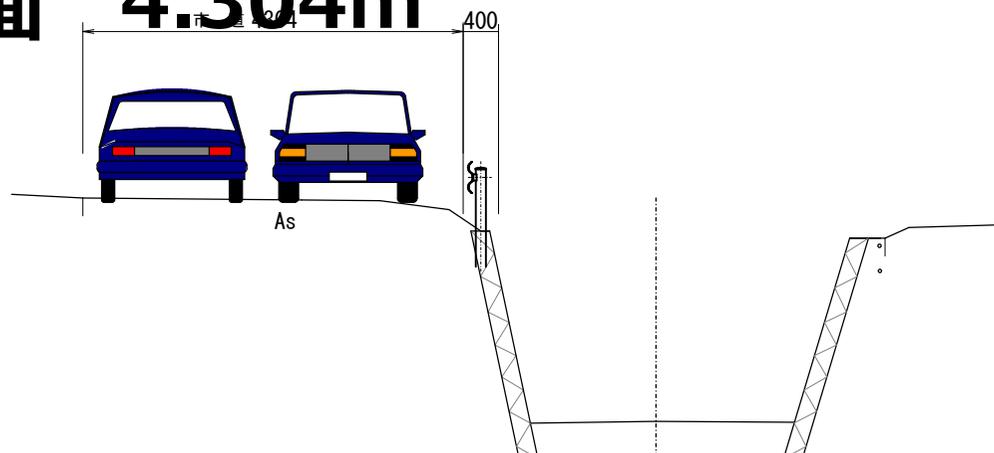
護岸に水抜きパイプを2㎡に1箇所設置し、護岸背面からの水圧を速やかに解消



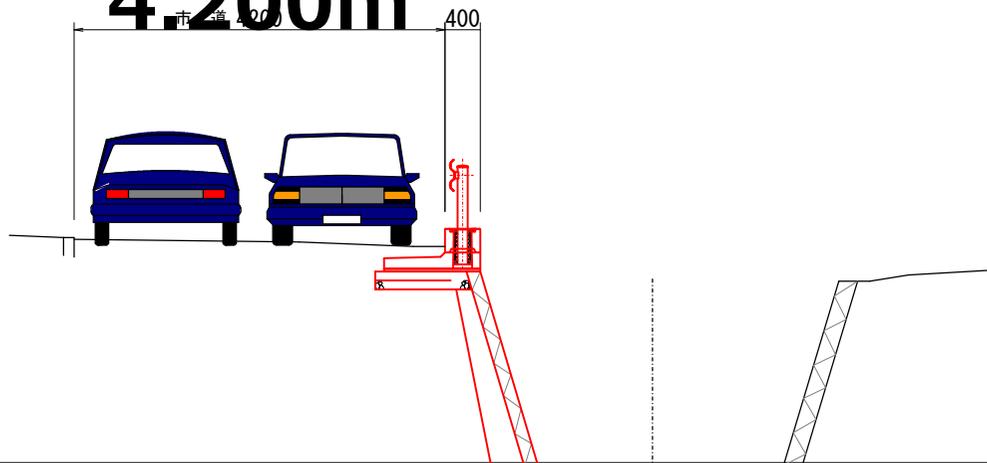
4(1).4-本復旧工事の方針

市道は幅4.2mを確保（所沢市生活道路拡幅整備要綱より）

被災前の断面 4.304m

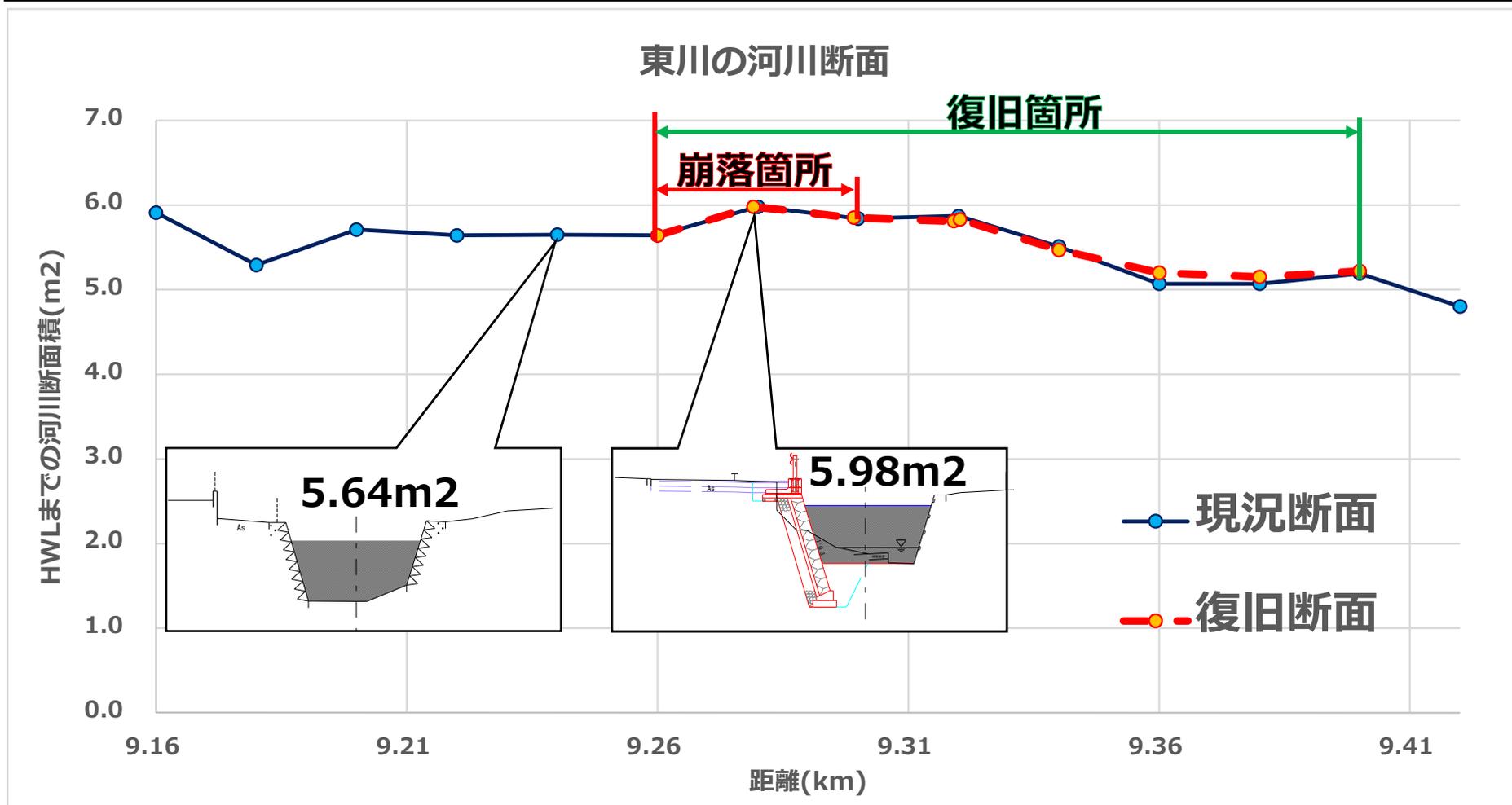


復旧断面 4.200m



4(1).5-本復旧工事の方針

復旧する河川断面は、下流の断面より狭くしない
(流下能力を低下させない)



4(2).本復旧工事のスケジュール

令和7年1月から復旧工事に着手し、
令和7年5月までの完了を目指す。

項目	令和6年(2024年)				令和7年(2025年)				
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
1.現況測量	■								
2.応急仮復旧	■								
3.復旧設計	■								
4.電柱移設		■	■	■					
5.本復旧工事					■	■	■	■	■
6.車両通行止	■	■	■	■	■	■	■	■	■

4.電柱移設: 仮移設 (12月) → 本復旧工事後に本移設をする (1月~5月)
 5.本復旧工事: 予算確保、入札手続、労務・機械・材料準備 (10月) → 着工 (1月)

※スケジュールは現時点の想定です。

4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ1：河川の流水を切り回し



4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ2：掘削（護岸の土台設置のため）



4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ3：護岸の土台設置



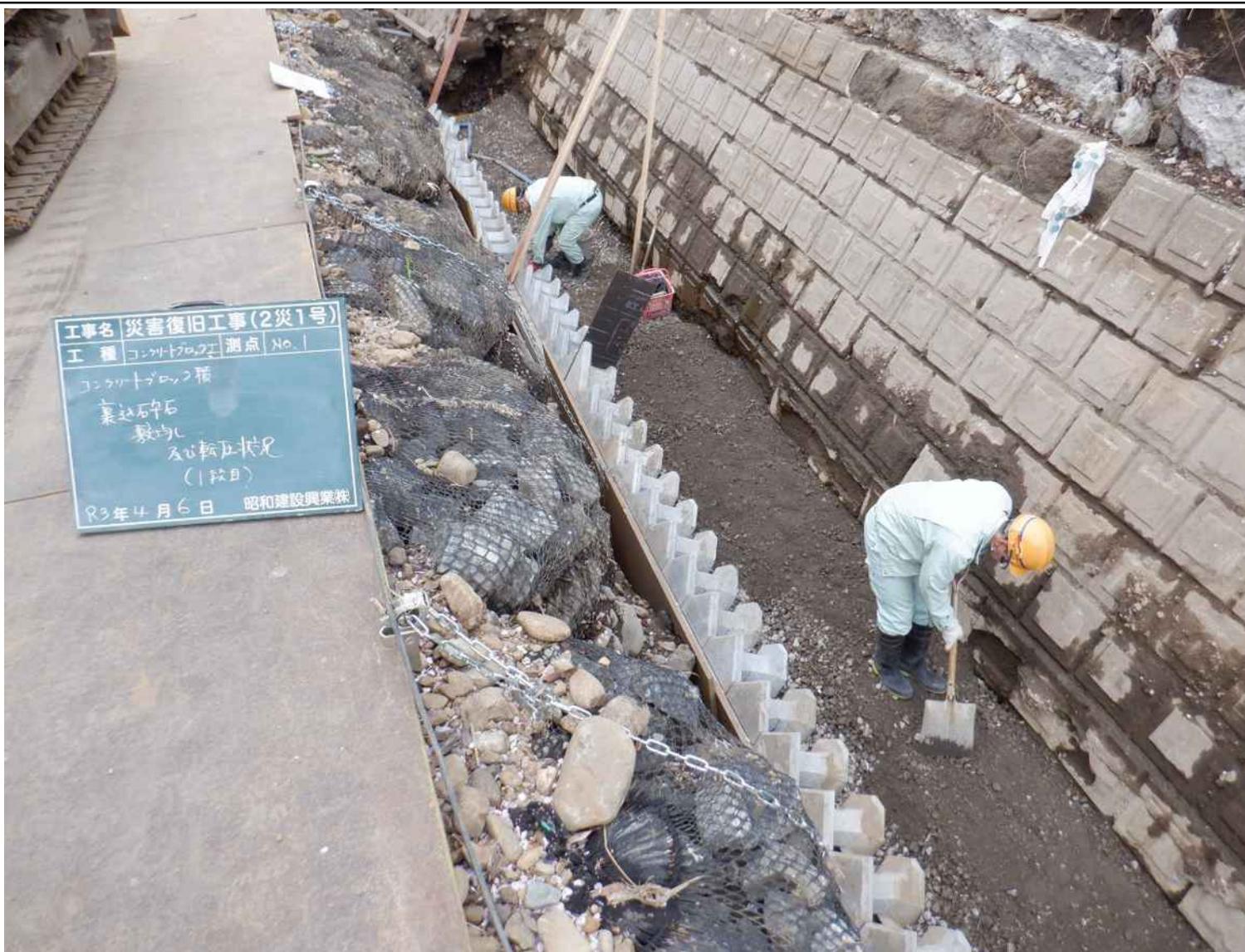
4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ4：護岸のブロック設置



4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ5：裏込め砕石の敷均し・締固め



4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ6：胴込コンクリート打設・養生



4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ7：天端コンクリート打設・養生



4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ8：護岸前面の埋戻し(根入れ0.5m以上)



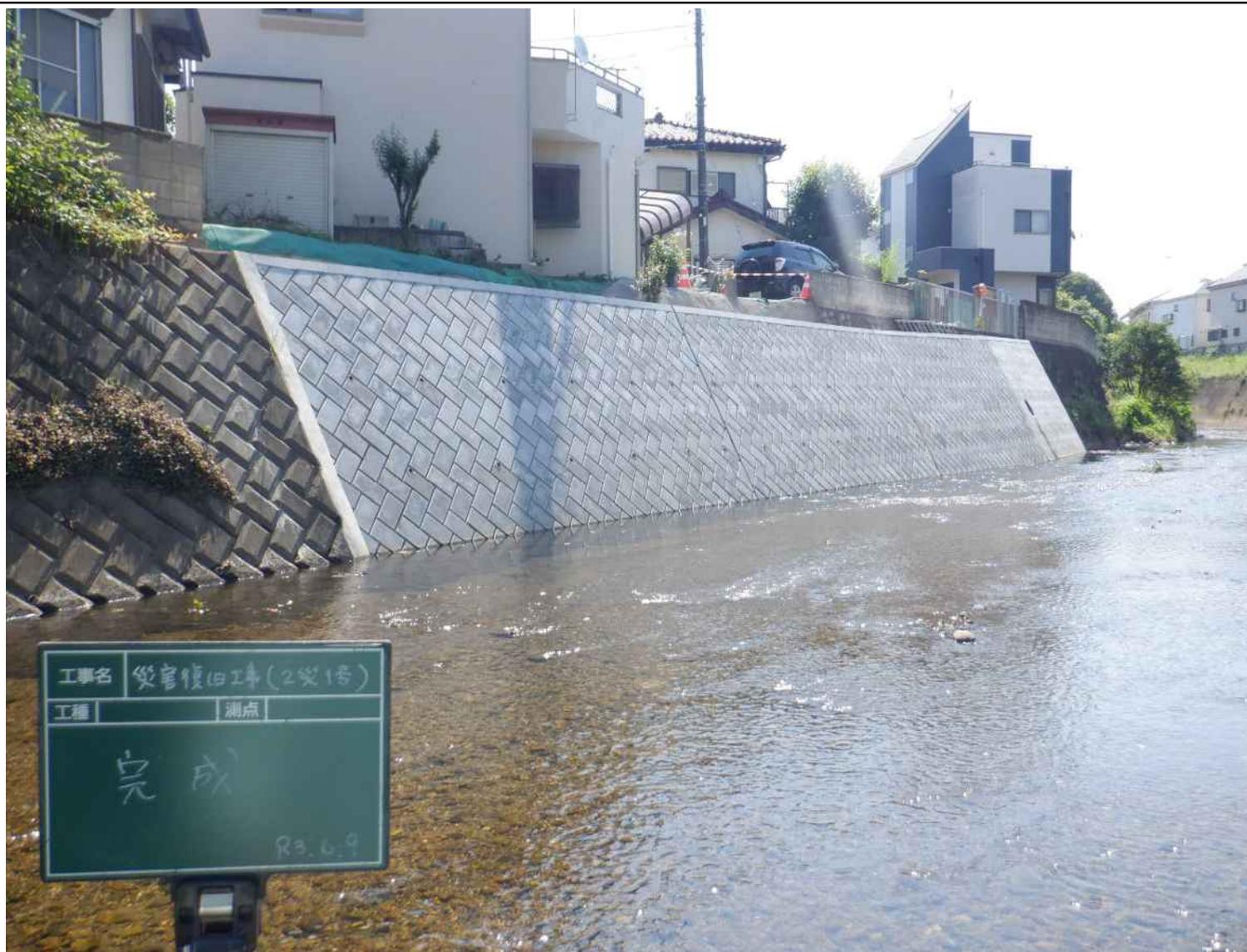
4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ9：ガードレールの設置



4(3).本復旧工事のイメージ

ステップ10：完成



復旧工事にあたっては、重機作業やダンプトラックの走行等により御迷惑をお掛けしますが、一日も早い工事完了を目指してまいりますので、御理解・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

埼玉県川越県土整備事務所